

私のすすめるこの1冊

大島 秀武 (体育学科 教授)

『人は話し方が9割』

永松茂久 (著)

「何を話せばいいかわからない」「会話が続き気まづくなる」。人とのコミュニケーションに不安や苦手意識を持った経験は、多くの人に共通するものではないでしょうか。本書は、私たちの日常に役立つ「話し方の技術」をわかりやすく紹介してくれる一冊です。内容は 4 つの章、全 37 のトピックスに分かれており、友人や職場の同僚といった身近な人との日常的な会話を円滑にするためのポイントがまとめられ、それぞれに「すぐに実践できる」具体的なアドバイスが提示されています。単なる心構えにとどまらず、「相手の名前を呼ぶ」「否定しない」など、今日から取り入れられる具体的なテクニックが豊富に盛り込まれているのが特徴です。「話し方」と聞くと、流暢に話すスキルやプレゼンの技術を思い浮かべる人も多いかもしれません。しかし、本書が扱う「話し方」は、そうした一部の場面に限定されたスキルではなく、日常の中で人と良好な関係を築くための「関わり方」の技術です。

また、著者は「話す」こと以上に「聞く」ことの重要性にも注目しています。話し手として優れるためには、まず「聞き上手」になることが大切であり、うなずき方や表情の使い方まで丁寧に紹介されています。つまり、本書が説く「話し方」とは、自分の考えを一方向的に伝える技術ではなく、相手との信頼関係を築くための「コミュニケーションの技術」なのです。私自身、本書を読み進める中で「話し方はその人の心の表れ」であるということに気づかされました。話し方を変えるということは、自分の心の持

ち方や他者への向き合い方を見直すことにほかならず、自分を少しずつ成長させていく過程でもあると感じます。

教員という立場から見ると、言葉は指導の大切なツールです。特に運動やスポーツの現場では、技術や戦略だけでなく、選手一人ひとりの心に響く伝え方が必要不可欠となります。たとえば、試合前の緊張感をほぐすための一言や、練習後の声かけ、また、個々の課題に対する丁寧なフィードバックなど、些細な言葉が生徒のモチベーションやチームの一体感に大きな影響を与える場面は数多く存在します。本書で紹介される具体的なコミュニケーション術は、そうした現場での実践において即戦力となる知識ばかりです。さらに、「聞く」技術を重視する著者のアプローチは、生徒が何を感じ、何を求めているのかを察知するための大きなヒントとなります。

学生の皆さんにとっても、日常の友人関係やクラブ・サークル活動、アルバイト先での人間関係など、さまざまな場面でコミュニケーションは避けて通れないテーマです。本書は、そうした場面での「ちょっとした気づき」と「実践できるヒント」を数多く与えてくれるはずです。会話に自信がない人はもちろん、人間関係に少し疲れていると感じる方にも、ぜひ手に取っていただきたい一冊です。

第39回 うたとおはなしの会 報告



4月26日(土)に、附属図書館にて第39回「うたとおはなしの会」が開催された。当日は朝から青空が広がる爽やかな天気となり、大勢の親子連れで会場はいっぱいになった。

まず最初に幼児教育専攻学生5名が「ポンポンポンと春がきた」を歌いながら登場すると、待ちかねた子どもたちから大きな拍手がおこり、楽しい雰囲気での会が始まった。続く、パネルシアター「ヤダットちゃん」では、何でもかんでも「やだっ」と答える主人公の口ぐせをすぐに真似したり、お腹が痛くなったヤダットちゃんを心配そうに見つめたりする子どもの姿も見られ、主人公と同じ気持ちになってお話の世界を楽しんでいる様子が見えた。

続いて、「春」(ピバルディ作曲)を奏でながら、どれみふぁそったくん扮する「森の音楽隊」が登場すると、本物の楽器の演奏を子どもたちが食い入るように見つめる様子があった。音楽隊は、「はらぺこあおむし」の歌を演奏した後、バイオリン、クラリネット、ホルン、ピアノ、などの楽器を紹介し、名曲「花のワルツ」(チャイコフスキー作曲)を披露した。美しい音楽の世界に魅了された子どもたちは、好きな打楽器を手にして音楽隊といっしょに「さんぽ」(「となりのトトロ」テーマ曲)を演奏し、自分も音楽隊になったような気分を味わった。3歳女兒と参加した保護者は「子どもも楽器をもたせてもらい、演奏に参加できたのが、すごく嬉しかったようです」と感想を述べていた。

楽器演奏で盛り上がった後は、手遊び「キャベツの中から」を親子で楽しみ、最後の演目、人形劇「赤ずきんちゃん」が始まった。狼が赤ずきんを食べてしまうシーン

では、学生の迫真の演技に、怖くて泣きだしてしまう子どももいた。しかし、赤ずきんやおばあさんが無事に助けられ、一緒にクッキーを食べるシーンでは、笑顔で「よかったね」と保護者に語り掛ける姿も見られた。



エンディングでは4月に入学したばかりの1回生が登場し、全員で「ありがとうのはな」を合唱して閉会した。子どもたちには、学生手作りのお花(フェルトと割り箸で製作)がプレゼントされ、子どもたちは大喜びの様子だった。0歳女兒と2歳男児を連れて参加した保護者は「例年より完成度が高く、たくさん練習されたんだなと感じました」「学生の皆さんの表情が豊かで、楽しく見させていただきました」と感想を述べていた。

当日は J:com(ケーブルテレビ)の取材があり、5月3日から1週間放送された。地域の乳幼児や保護者にとって心温まる企画となるよう、今後も学生と共に努力を重ねていきたい。

幼児教育科 平井恭子



児童書コーナー(南館1階)



今月の絵本カード(学生作)

『11びきのねこ』
作:馬場のぼる
出版社:こぐま社



※児童書コーナーにかわいいカードが飾られていますので、ぜひ見に来てください。



保育士試験対策コーナー

保育士試験に関連する絵本・紙芝居などを、6月6日(金)から6月28日(土)まで南館1階の児童書コーナーにて展示します。



学修相談カウンター実施中！

授業や教採のことなど、先輩に相談してみませんか？

【対面相談】原則として月・火・木・金の
12:00～13:00、2階のラーニングコ
モンズにて。予約不要。

【Web相談】Google フォームで
いつでも気軽に相談できます。(大学 Google アカ
ウントでログインが必要です)



Web相談フォーム



こんにちは！今年度から学修支
援員を務めさせていただくこと
になりました。私は学部時代、書道
と国語を専門に学んでおり、特に
書道得意としています。作品づくりや筆遣いの
基本などの実技的なことはもちろん、レポートの書
き方など、国語に関する学びのサポートもお任せ
ください。「ちょっと聞いてみたいな」「なんとなく不
安…」そんな気持ちでも大歓迎です！気軽に立ち
寄ってくださいね。北館2階ラーニングコモンズで
お待ちしております！

(初任期教員養成コース M1 書道/国語)



こんにちは！私は現在教職大学院初任期教員養
成コースに所属しています。持っている免許は小
学校、中学校音楽、高校音楽・国語、特別支援学
校です！学部生時は音楽教育について研究して
いました。また大学院卒業後は京都府の小学校教員になることが
決定しています。

大学生活のこと、免許のこと、実習のこと、教採のこと...気軽に何
でも相談しに来てください！皆さんをお待ちしています♡

(初任期教員養成コース M1 音楽/国語/特別支援)



こんにちは！私は学部では理科教育を専攻し、主に
小学校で実践を重ねてきました。大学院では学部で
専攻してきた理科教育をより深めるとともに、学校現
場で経験を重ねています。

専攻は理科教育ですが、防災教育や幼児教育、学校図書館司書、
学芸員、教採対策、卒論...など様々な経験を生かしながら、みなさ
んのよろずの相談に乗れたらと思っています！是非いつでも気軽に
お話ししましょう！

(初任期教員養成コース M1 理科教育)



電子ブック全文試し読み実施中！

【実施期間】6月2日(月)～8月1日(金)※2ヶ月

紀伊國屋提供プラットフォーム、
KinoDenにおける電子ブック
全文試し読みを実施中です！
普段は目次程度しか読めない
試し読みが、期間中は1冊につ
き5分間読み放題！！



また、気になった電子ブックの購入リクエストもできます。(リク
エストは利用統計や選書方針を元に購入可否を決定します)この
機会に是非、電子ブックの試読&リクエストをご利用ください！



リクエストと投票で話題の本を読もう！

学習研究以外のリクエスト本を一定期間掲示し、みなさんの
投票で購入する本が決定する企画です！学生・教職員のみな
さんからのリクエストをお待ちしています。

【5・6月の投票期間】5月15日(木)～6月14日(土)



展示案内：児童書コーナー

カラクリ工作展『未詳』
:カラクリサークル PYTHA
6月6日(金)まで開催中！
※最終日は15:00迄



ぜひ投票して
くださいね！

京都教育大学 それはかなう夢講座

「先生になりたいーそれはかなう夢」は、京都教育大学のシン
ボルフレーズです。

第46回のおしらせ

YouTubeで公開されています。

【講 師】榊原久直(総合教育臨床センター 講師)

【テーマ】ジブリ作品から学ぶ心理学の世界
～夢に向かう道とアイデンティティ～

主催:「現代的ニーズを踏まえた「理系」教員養成のための
カリキュラム開発」プロジェクト委員会

後援:京都教育大学同窓会・京都教育大学附属図書館

※今までの回も
視聴できますので、
ぜひご覧ください！



教育資料館 まなびの森ミュージアム

【6月の開館日時】

2日(月)、9日(月)、16日(月)、23日(月)、30日(月)
14:00～17:00



今月の逸品(4～6月)

『學藝大學新聞』

(全2冊:復刊4号～111号)

展示場所:附属図書館 1階渡り廊下

教育資料館 まなびの森ミュージアム
<https://www.kyokyo-u.ac.jp/museum/>

論のくちび理のむすび

今回の執筆者 権 眞煥 (家政科 准教授)

動画教材制作を支援する編集技術の基礎パッケージの開発

権 眞煥・黒田 梨紗

京都教育大学紀要 2024, No.146, pp. 115-128
URI:<http://hdl.handle.net/20.500.12176/9941>



近年、GIGA スクール構想の推進や新型コロナウイルス感染症の影響を受け、動画教材は教育現場でますます重要な役割を果たすようになっていきます。ところが、映像コンテンツの充実を望む声や、動画編集スキルの向上を求める教員のニーズに応える仕組みは、いまだ十分に整っているとはいえません。

そこで本研究では、動画教材の編集経験がない教員や、これから編集技術を身につけたいと考える教員を支援するために、「編集技術の基礎パッケージ」を開発しました。具体的には、動画編集の基礎知識や映像の構成、編集要素、サンプル動画や作成方法を体系的パッケージ化しており、特にテキストや解説動画を通じて自主学習形式で学べる内容となっています。

私たちはNHK for Schoolの15本の教育映像を分析し、現場でよく使われているテキスト処理、効果音、ナレーション、BGM、エフェクトの工夫を整理し、それらを本パッケージに反映させました。また、現職教員を対象に、実践的な演習課題を組み込んだ講習を実施した結果、参加者から「今後の授業で活用したい」といった好意的な声が多数寄せられました。

教育のデジタル化が進む中で、教材づくりの自由度を高める編集技術は今後ますます重要になるでしょう。詳細は、京都教育大学紀要(No.146)掲載論文をご覧ください。今後も、教員のICTやAIスキルの向上につながる実践的な研究を継続していきたいと考えています。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要 146 号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<https://ir.kyokyo-u.ac.jp/> に掲載されています。

開館日程 □9:00-20:00 ■9:00-17:00 ■10:00-17:00
■9:00-21:00 ■休館(CLOSED)

2025年6月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

6/1 創立記念日

※開館日程につきましては、変更となる場合がございますのでホームページをご確認ください。

2025年7月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

7/2 館内整理日

7/26 大学院入試

7/30-8/5 前期末試験

●京都教育大学附属図書館ホームページ
<https://www.kyokyo-u.ac.jp/library/>
(QRコード→)



京教図書館 News No.297 (2025年6月号)

発行日:2025年 6月 2日

編集発行:京都教育大学附属図書館

問い合わせ先:library@kyokyo-u.ac.jp

国立大学法人
京都教育大学
KYOTO UNIVERSITY OF EDUCATION